

25年4月1日より放射線治療を再開いたしました。

高精度放射線治療を可能にする新型放射線治療装置を導入

昨年9月より機器更新のため中断しておりました放射線治療を再開いたしました。このたび当院では、がん治療の充実を図るために、新たに高精度放射線治療装置を導入致しました。放射線治療の世界のグローバルスタンダード（世界標準機）の放射線治療装置を導入することにより、高精度かつ短時間での放射線治療に対応することができるようになります。

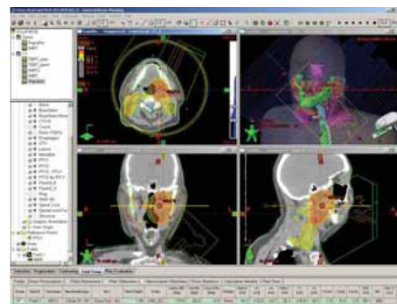


米国 バリアン社製 CLINAC 21EX

治療計画（シミュレーション）

放射線治療を始める前に適切な治療範囲や照射方法を決定致します。

当院では、CT装置で撮影した画像を用い、最新の治療計画装置で腫瘍に対し三次元的に治療シミュレーションを行い照射計画を立てます。



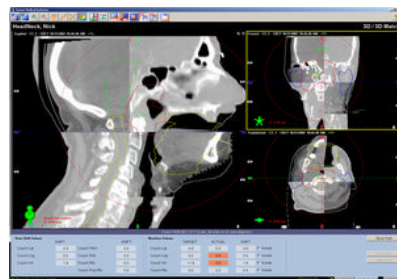
治療計画

画像誘導放射線治療（IGRT）

放射線治療において重要な事は腫瘍の位置を正しく把握し、正確に放射線を照射することです。

その為、本院ではIGRT（ImageGuidedRadioTherapy）を導入いたしました。

治療前に腫瘍の位置を確認しその画像情報をもとに腫瘍との誤差を正しく補正することで正確に放射線を照射することが可能になりました。



IGRT

放射線治療

放射線をあてる範囲は板状の遮蔽物（マルチリーフコリメータ）を重ね合わせて腫瘍の形状を形成します。

従来は、1cm幅のリーフを搭載している治療機が主流でしたが、本治療機は、最新鋭の制御機能を搭載し5mm幅のリーフで木目細かな腫瘍形状を形成し正確な治療が可能となりました。



マルチリーフコリメータ

放射線治療に関するお問い合わせ

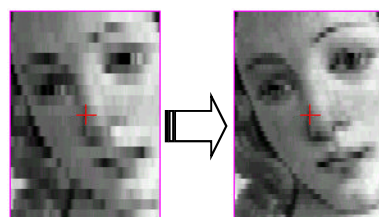
山口県厚生協同農業組合連合会

周東総合病院

〒742-0032

山口県柳井市古開作1000番地1

TEL：0820-22-3456



1cm幅リーフ

5mm幅リーフ